

実践『ペルソナ』通信 (No. 125)

「モバイルバッテリー」に関する調査 Side-*Be*

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、女子大生の「モバイルバッテリー」について、観察調査を実施しました。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計学科（担当：竹内光悦）」のゼミ生を中心に組織され、実践女子大学生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を研究する研究会です。

※実践『ペルソナ』通信 Side-*Be*とは、写真観察を行い、実態を考察した調査レポートです。

総括

今回の調査を通して、実践女子大学生は平たい箱型のスタンダードタイプのモバイルバッテリーを使用している人の割合が多く、白や黒といったシンプルな色のもので使っている傾向が見受けられた。シールを貼るなどのデコレーションをする人はおらず、そのままの形・デザインで使っている人がほとんどであった。加えて、大きさは手のひらサイズ、もしくはそれよりも小さいサイズと、かなりコンパクトなものであった。また、多くの人がコードを使って充電するタイプだったが、何人かは直接電子機器に差し込むタイプのものを使用していることが分かった。

調査結果のポイント

(1) シンプルなデザインのものが主流

色付きや柄つきと派手なタイプよりも白色で無地を使用する人の割合が多く、デザインがあるものでも本体は白色でワンポイントと控えめな四角いスタンダードタイプが多いことが分かりました。また実践女子大学では、入学時にモバイルバッテリーを配布するためかそのモバイルバッテリーを使用している人もいた。モバイルバッテリーは、手のひらサイズのシンプルなものが好まれやすいことが考えられます。

(2) 差し込みタイプ

モバイルバッテリーの中でも、直挿しタイプとコンパクトでケーブル不要なため持ち運びやすくポケットや小さい鞆にも入れやすいことから、かばんが小さい大学生に好まれやすいと考えられます。

(3) スティックタイプ

棒状の一番スリムなタイプに見えますが、容量が少ないためかあまり使用している人はいないことが考えられます。このことから、コンパクトかつある程度の容量があるものが大

学生に好まれると考えられます。

(4) 手のひらより小さいモバイルバッテリーを使用している大半

人が調査を行った際に大半の人が大容量タイプの大きいものではなく、手のひらより小さいサイズのモバイルバッテリーを使用していることから、色も白色が多いことから、機能面より持ち運びやすさなどの実用性を重視している使用者が多いと考えられます。

調査概要

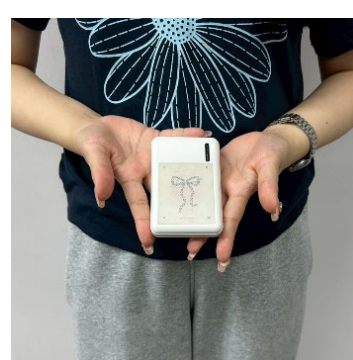
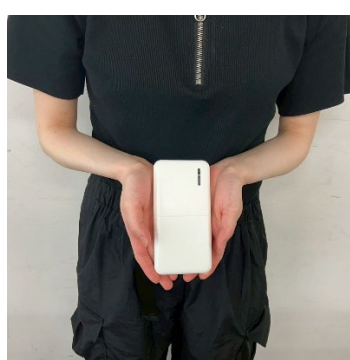
- ・調査対象：実践女子大生（全学年、全学部）
- ・調査方法：フィールドワークによる写真撮影および対象者観察
- ・調査期間：2025 年 7 月
- ・調査場所：実践女子大学渋谷キャンパス・調査協力者の居住内スペース

調査担当者

実践『ペルソナ』研究会 田野美珠稀・末兼萌衣・有馬詩織

写真

【シンプルなデザイン】





【差し込みタイプ】



【手のひらより小さいサイズ】



調査後記

今回の調査を通じて、女子大生は様々なデザイン、タイプのモバイルバッテリーを使用していることが分かりました。調査対象の 12 人中 9 人が「無地」のモバイルバッテリーを使用しており、A面の調査結果と同じく、過半数がシンプルなデザインのことを所有する傾向にあることが分かりました。

モバイルバッテリーのタイプについては、手のひらに収まるサイズのものが多く見られ、モバイルバッテリーは持ち運びやすいコンパクトなものを所有する傾向にあることが分かりました。全体を通して、今どきの女子大生は、モバイルバッテリーにおいてデザイン性よりも、軽量や大きさなどの実用性を重視しているということが考えられます。

今回の調査結果のポイントを踏まえ ChatGPT 5 にペルソナイラストを作成したのが下の図となります。



作成：ChatGPT5（2025 年 8 月 28 日、11:30）

今回の調査において、多くの学生の方々に快く調査への回答や写真の提供をしていただいたことで、報告書を作り上げることができました。ご協力いただいた皆様には、この場をお借りして深く御礼申し上げます。今回の調査での経験を今後の調査分析にいかせるよう、メンバー一同精進いたします。